

アトピー性皮膚炎における最新疫学事情

出典	Allergy 21st Century(1345-3084)6号 Page3-6(2001.02) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2001231922)
著者	上田 宏
調査地域	愛知県
調査時期	1981~1999 年
調査対象	3~15 歳
依頼数	2500 人
回収率	100%
有効回答率	100%
診断方法	医師による診察
有症率	6.60%
調査概要	1981 年春以降、保育園、小学校、中学校の新学期の内科検診に併せ皮膚科検診を施行してきた。1981 年の小児の AD 有病率は 2.5%であったが、1992 年には 6.6%の最高値を記録した。